

ほけんだより

令和8年1月28日
谷田部小学校 保健室



先週から、おう吐や吐き気、下痢症状で欠席するお子さまが増えてきています。登校前に、食欲がなかったり、吐き気があったりした場合は、お子さまの顔色や体調を確認していただき、登校をご検討ください。

受診し、医師から「ウイルス性胃腸炎」「感染性胃腸炎」「うつる胃腸炎」と診断がありましたら、出席停止となります。リーバー等でお知らせください。胃腸炎・おなかの風邪・下痢は、病欠となります。ご了承ください。

エチケット袋（ビニル袋）の用意をお願いします

ノロウイルス等の感染性胃腸炎の症状である嘔吐の場合、症状がでる少し前までは元気に活動できていても、急な吐き気や嘔吐が起こることがあります。嘔吐でウイルスが飛散すると感染が拡大することがありますので、予防の観点から、ご家庭でエチケット袋（ビニル袋のみでも構いません）をご用意いただき、お道具箱で保管するようにしたいと思います。

ご協力よろしくお願いいたします。

お子さんからうつらないように 家庭内の感染予防 4つのポイント



お子さんが感染症にかかり看病に追われ、治ったと思ったらご自身が倒れてしまった……そんな事態を防ぐための、家庭内でできる感染予防のポイントをお伝えします。

①. 手洗い・消毒

看病をした後は石けんで手洗いを。電気のスイッチやトイレの水洗バーなど、よく触るところの消毒も大切です。



②. タオルを共用しない

タオルを介した感染も多いです。ペーパータオルを準備しておく◎。

③. 食器はよく洗う

子どもの唾液がついた食器には細菌やウイルスが。洗剤でしっかり洗います。

④. マスクをつける

不織布マスクは子どもからの飛沫感染をある程度防げます。

感染性胃腸炎や疑いがある場合の消毒は、次亜塩素酸ナトリウム（希釈）が有効です。アルコール消毒は効果がないのでご注意ください。